

「自分を大切に・人を大切に・ものを大切に・自然を大切に」を 合言葉に、みんなで取り組むエコ・スクール活動

エコスクール活動に取り組んで20年目。今年度は、児童会エコ委員の活動がたくさんあった。ビオトープを核として家庭・地域・地元企業と連携し、環境学習の幅を広げた。

1 学校の概要

油日小学校は、滋賀県南東部の鈴鹿山脈の麓にあり、油日岳を源流とする杣川が学校近くを流れている。2000年の3月に完成した学校ビオトープも、今では木々が大きく育ち、カエル、メダカ、ヤゴ、ドンコ、タニシ、カワニナなど多くの生物が観察できる場になった。また、校庭にも数十種の木々が育ち、よい活動場所となっている。

2 活動の実際

(1) エコ委員会の取り組み

ア. ビオトープの紹介・約束

5月14日のエコ宣言集会でビオトープには、様々な生き物が住んでいることや多くの植物や薬草があることを紹介した。また、在来種を守るために勝手に生き物を入れてはいけないことや走り回ると生き物がびっくりしてしまうことなどビオトープで気をつけてほしいことも伝えた。



エコ宣言集会

イ. 児童総会

6月5日、児童総会が開かれた。各学年では、油日小児童会の3つのスローガン「エコスクール・ゆめスクール・元気スクール」の実現のためにしたいこと、するといいことなどを話し合って発表する。発表された質問や意見には、各委員会や先生方から回答をもらえる。今年、エコ委員会は、



もっとビオトープの自然のことを教えてほしいという意見をもらった。そこで、毎年行っている自然観察会の回数を増やし、ビオトープの自然を時期を逃さないように全校に知らせるようにした。数週間で変わっていく自然をタイムリーに知らせることは難しかったが、充実した活動になった。

ウ. エコイベント

春の自然観察会

カラスノエンドウで笛づくりをしたりスズメノエンドウを探したりした。シロツメグサのくさりの作り方を教えた。



初夏の自然観察会

クリやササユリの花をクイズにして紹介した。オオバコ相撲で楽しんだ。

夏の自然観察会

くちなしの花を紹介した。池の中のアサザとミクリも紹介した。



9月の自然観察会

コオロギやイナゴを紹介し、コオロギの雌雄の見分け方を教えた。

秋の自然観察会

どんぐりクイズや在来種園のキキョウ、オミナエシ、フジバカマ、ナデシコを紹介した。

児童集会

オナモミの的あてで楽しんでもらった。

くりの大抽選会

くりがたくさんとれたので、全校で食べた。残った分を20個ずつ抽選で子どもに持って帰ってもらった。もらった人は、どのように食べたかを絵日記で知らせるようにした。

毎回の自然観察会でザリガニの住み分け活動を取り入れ、その意義について知ってもらい、協力してもらえるようにした。

これらの活動についてエコクラブ活動交流会で発表を行い、奨励賞をいただいた。

(2) 環境フェスティバル 11月2日(土)

この行事は、学校で取り組んでいる環境教育を、家庭や地域に広く紹介するために、親子で学ぶ場として全校をあげて行っている活動である。

内容は学年ごとに、次の活動を行った。

- ・ 1年 アサガオのつるのリースづくり
- ・ 2年 ひっつきむしの絵、虫クイズ
- ・ 3年 池の生き物観察と飯盒炊さん(防災)
- ・ 4年 丸太切り体験 木切れでクラフト
- ・ 5年 水中の微生物観察、ヨシ笛づくり
- ・ 6年 油日岳登山



親子で虫取りをする児童

今年度も、6年生油日岳登山で甲賀山岳会の方に下見、先導、引率など協力していただいた。その他地元森林組合、(株)ラーゴ、オーパル等に協力いただき、自然とふれあい、環境保全について考えることができた。

(3) エコ・スクール支援委員会の取り組み

環境フェスティバルを支えるPTAエコスクー

ル支援委員会は、2年、3年の活動の中心を担っている。フリップやプレゼンを利用して「ひっつきむし」や「飯盒炊さん」の説明を行った。虫クイズやネイチャーゲームも新たに活動を広げてくださった。実施後の総括会議では、保護者からのアンケート結果や支援委員の反省をもとに、学習活動の見直しや当日の動きなどについて具体的に意見が出され、次年度の活動につながる話し合いの場となった。

(4) ビオトープの活用

生活科や総合的な学習の時間「ハナノキタイム」では、各学年がビオトープを中心として環境学習を行っている。低学年は、植物や生き物の変化を観察し、四季を感じる事ができた。中学年は、薬草や樹木をじっくりと観察することができた。高学年は、水生生物を観察したり、薬草園でムラサキを育てたりすることができた。

(5) 地域や地元企業との連携「油日小学校薬草園」

「くすりのまち甲賀町」のビオトープとして、地元企業シオノギ油日薬草園の指導と協力を得ながら、地域種の薬草を栽培した。3年生が薬草学習の一環としてアイを栽培し、アイ染めに挑戦。朝摘みした生葉を使い、薬科大学の先生の指導のもと、色の変化に感動しながらたたき染めと絞りを加えた青汁染めに取り組んだ。

また6年生は、春にムラサキを植え、12月に掘り起こし、紫根染めの体験をした。家庭科の「お世話になった人へのプレゼント」の布材料とし、自分で染めた布を使って卒業制作としてプレゼントづくりをしている。

また、毎年、地元滝地区の「ササユリの会」より、バイオで育てた球根を分けてもらいビオトープに植えつけているが、今年度も花をつけた。滝地区の子どもたちの継続が実を結んでいる。今年度は、シオノギさんの協力を得て「在来種園」も完成した。オミナエシ、フジバカマ、キキョウなど名前は知っているけれどわからない子が多い在来種を紹介できた。

今年度、ビオトープを核にした活動が評価され、全国学校園庭ビオトープコンクールで「文部科学大臣賞」を受けることができた。

学校名	甲賀市立油日小学校
住所	甲賀市甲賀町上野1322
電話番号	0748-88-2079
E-mail	koka30102032@city.koka.lg.jp